

市民の皆さんが納めた税金をはじめとする、貴重な収入の使いみちはどのように決まるのでしょうか。

市では、①市民のニーズ ②団体からの意見・要望 ③国や県の動向 ④既存事業の見直しなど、さまざまな要素を基に協議を重ね、予算を編成しています。

暮らしやすく持続可能なまちづくりのためには、将来を見据え、安定した財政を保つことが大切です。1年間の予算である「当初予算」が決定されるまでのスケジュールを見てみましょう。

info
25

市の予算は どうやって決まる？

問 財政課財政班 (☎ 73-2114)

9月	政策調整会議	どの事業に重点を置くかなど、次年度の方向性を決定します。	
10月	予算編成方針の策定 ～当初予算編成開始	予算編成方針は、次年度の主要施策などを示します。方針を基に市民のニーズや課題に対応した事業を実施するため、また、行政サービスを維持・向上させるために必要な予算を各課が要求します。	
11月	部課内協議 予算要求書作成	部課内で協議し要求内容を確定させます（予算要求書の作成）。より良い行政サービスを効率的かつ効果的に提供するため、施策の優先順位や予算の配分を検討します。	
12月	予算要求書提出 副市長査定	各課が提出した予算要求書の内容を、副市長が査定します。	
1月	市長査定 予算案完成	これまでの協議内容などを踏まえ、市長が総合的に判断し、当初予算案を作成します。	
2月	予算案の提出	当初予算案を市議会に提出します。	
3月	審議 議決	市議会の3月定例会で予算案が審議されます。市民の声が反映されているかなど、さまざまな形で内容がチェックされます。可決されると、当初予算が決定します。	
4月	新年度スタート	当初予算に基づき、事業を実施します。	

info
26

9月10日は「下水道の日」です

2023年度推進標語 “下水道 みえないところで ファインプレー”



自然と生活環境を守る下水道に早期接続を

下水道は私たちの生活で生じた汚れた水をきれいにし、川などに戻すことで自然を助け、動物や植物にやさしい水環境を作り出しています。

市の下水道接続率は令和4年度末で78.8%です。県内25市町村の平均を下回り、自然と生活環境を守るためにも早期の接続が望まれています。

下水道は、普段の生活では見えませんが、安全で快適

な生活を確保するとともに自然を守る重要な役割を担っています。

9月10日は、台所で、トイレで、お風呂で、水の大切さとその水が流れていく先について考えてみませんか。

※下水道接続率…下水道が整備された区域の中で、実際に下水道に接続している家庭+合併浄化槽で水洗化している家庭の割合

問 上下水道課下水道班 (☎ 73-2166)